

第 125 回触媒討論会特別シンポジウム

触媒学会では、第 115 回触媒討論会より毎年継続して参りました特別シンポジウムを、第 125 回触媒討論会にて開催します。注目度の高いテーマや他分野との境界領域のテーマを選定し、この分野でご活躍されている産学官の第一人者の方々に講演をお願いしています。今回は「機能性材料開発を支える触媒技術」および「光・電気・電場などが係わる革新的反応」の二つのテーマについて特別シンポジウムを開催します。

本企画が、各界の研究者の交流を一層促進し革新的な成果を生み出す"触媒"となるよう、積極的なご参加をお願いします。

主催：触媒学会

協賛：エネルギー・資源学会、応用物理学会、化学工学会、高分子学会、自動車技術会、触媒工業協会、新化学技術推進協会（JACI）、水素エネルギー協会、静電気学会、石油学会、電気化学会、日本エネルギー学会、日本化学会、日本ゴム協会、日本接着学会、日本セラミックス協会、日本太陽エネルギー学会、日本電磁波エネルギー応用学会、日本光学会、日本プロセス化学会、日本薬学会、有機合成化学協会

日時：2020年3月27日（金）14:30-17:30

会場：工学院大学 新宿キャンパス 触媒討論会会場にて
（東京都新宿区西新宿 1-24-2）

テーマ1（A会場）：「機能性材料開発を支える触媒技術」

日本製の「機能性材料」は、スマートフォンや自動車等の産業で、世界で大きな存在感を持っています。しかしながら、日本が今後ともこの分野で優位性を保つためには、「何を作るか（What to Make）」と同様に、「いかに作るか（How to Make）」が重要になります。本テーマでは、この分野におけるパイオニアの先生方をお招きし、画期的な触媒技術をご紹介いただくとともに、材料科学への今後の応用に関する展望も述べていただきます。

14:30-14:35	シンポジウム趣旨説明	清水史彦（三菱ケミカル）
14:35-15:10	精密な反応機構解析に基づく新規錯体触媒反応の開拓	真島和志（大阪大）
15:10-15:45	可視光レドックス触媒作用が拓くラジカル的分子変換法	小池隆司（東京工業大）
15:45-16:20	クロスカップリング反応のフロンティアを切り拓く	三浦雅博（大阪大）
16:20-16:55	Gd 触媒で創る革新素材「SUSYM™（サシム）」	会田昭二郎（ブリヂストン）
17:00-17:30	パネルディスカッション「機能性材料開発を支える触媒技術の今後の方向性」	上記 4 氏

テーマ2（B会場）：「光・電気・電場などが係わる革新的反応」

再生可能エネルギーとしての光や電気のエネルギーを用いることで、CO₂ 排出量を削減すると共に、これまでにないマイルドな条件下で有用な物質に変換する研究が近年行われています。また、従来にはない特殊な反応場の形成やプロセスの開発により、省エネに貢献した研究も盛んに行われています。本テーマでは、光・電気・電場・マイクロ波をキーワードとして、最新の革新的反応を紹介します。

14:30-15:10	開会の挨拶と趣旨説明（電場反応含む）	関根 泰（早稲田大）
15:10-15:40	分子触媒と半導体を組合わせた CO ₂ 還元反応系の研究開発	森川健志（豊田中研）
15:40-16:10	水と電気を用いた化学品合成	山中一郎（東京工業大）
休憩（10分）		
16:20-16:50	固体酸化物セルを用いる CO ₂ の中低温での電気化学的活性化	石原達巳（九州大）
16:50-17:20	マイクロ波特殊加熱による反応促進－ナノ反応場の局所選択的加熱	和田雄二（東京工業大）
17:20-17:30	閉会の挨拶	関根 泰（早稲田大）

参加費：

- 1) 第 125 回触媒討論会参加登録費に含まれます。
- 2) 特別シンポジウムのみ参加の場合は、下記の参加費となります。

（税込、特別シンポジウム講演予稿集一冊付）

触媒学会・協賛学協会個人会員：一般 4,300 円、学生 2,200 円

触媒学会シニア会員：2,200 円

触媒学会・協賛学協会団体会員：5,300 円

（協賛学協会の方は、受付で会員証または社員証をご提示ください。

ご持参のない場合は、非会員価格となります）

非会員：一般 15,800 円、学生：8,600 円

参加申込方法：事前申込の必要はありません。特別シンポジウムのみ参加の場合、当日 13 時 30 分より総合受付にて受付を開始します。

問合せ先：触媒学会 事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3 階

電話：03-3291-8224

E-Mail：catsj (@) pb3.so-net.ne.jp（カッコを外してください）